

以下のご質問および回答例をご参考にしてください。

■質問例

カメルーンの英語圏で行われたとされる「ゴーストタウン作戦」という名のデモ活動について、その背景、概要や迫害事例等について知りたい。

■回答例

カメルーン：カメルーンの英語圏で行われたとされる「ゴーストタウン作戦」という名のデモ活動について、その背景、概要や迫害事例等について。

2020年3月12日作成

カメルーンの「カメルーンの英語圏で行われたとされる『ゴーストタウン作戦』という名のデモ活動について、その背景、概要や迫害事例等について知りたい」との調査依頼に対し、難民研究フォーラムが規定の時間的制約の中で調査したところ、以下の情報が見つかりました。

ア ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW) [「これらの殺害は止められる」カメルーン英語圏地域における政府と分離主義グループによる人権侵害](#) (2018年7月19日)

2016年後半の抗議運動

…

2017年1月初め、活動家たちは、北西部及び南西部においてさらなるデモを呼びかけた。そこで、カメルーン英語圏市民社会連合 (CACSC) のメンバーは、政府と会合を持ち、2016年12月8日に武力で鎮圧されたバメンダにおけるデモで逮捕されたデモ参加者の釈放を求めることにした。20しかし、政府との話し合いが進むにつれて、カメルーン英語圏市民社会連合は政府が非武装の若者4人を射殺したことを非難するようになり、1月16日及び17日に「ゴーストタウン作戦 (ビジネスの休業を奨励する作戦)」を行うことを宣言した。21

…

21 カメルーン英語圏市民社会連合の Facebook のページ：

<https://www.facebook.com/cameroon.anglo>

[phone.consortium/photos/pcb.369119386795882/369118916795929/?type=3&theater](https://www.facebook.com/cameroon.anglo/photos/pcb.369119386795882/369118916795929/?type=3&theater)

…

イ 記事[「カメルーン：南西部及び北西部において「ゴーストタウン」抗議運動が継続](#) GARDA (2018年8月7日)

背景

カメルーンの英語圏の南西部及び北西部では、ブエア等多くの街において、1年以上にわたって、毎週月曜日に定期的なゼネスト (いわゆる「ゴーストタウン」抗議運動) が続けられている。ゴーストタウン抗議運動の間は、お店やビジネスは休業となり、街には人通りもなく、警察のパトロールが強化されてい

る。ゴーストタウン抗議運動を支持する地元住民は、この運動は政府に対する非暴力の抵抗運動の一形態であると主張し、その継続に賛成している。しかし、強硬な過激派の中には、このような戦略は不十分であるとして反対の意思を表明し、ブエアドゥアラ間の道路（石油を輸送するための大動脈）を封鎖して、政府側に何らかの反応を引き起こさせるべきだと主張する者もいる。

ウ 記事「[棺桶革命](#)」[Jacqueline-Bethel Tchouta Mougoué](#) / [Africa is a Country](#) (2017年5月)

2016年及び2017年に起きた出来事は、英語話者のカメルーン人に対する保護が後退したことを示すものである。英語話者のカメルーン人は、その保護があったからこそ、完全な市民権を獲得することのできる政治形態の構築を目指していた。カメルーンの南西部の州都であるブエアにおいて、治安部隊が英語話者の学生デモ隊に対して暴力をふるっているところを映した映像が、Youtube上で広まった。カメルーン英語圏市民社会連合(CASC)は、「ゴーストタウン」運動を呼びかけ、フランス語話者による支配とインターネットの停止に抗議するため、英語話者に対して、1月後半に2日間にわたって家庭外で活動しないよう要請した。この運動は、経済を停滞させ、通りにいる「むやみに銃を撃ちたがる[警察]部隊」から自分たちを守るために、英語話者があらゆる形態の家庭外での活動を完全にやめることを提唱するものであった。バメンダでは、市場、銀行、ガソリンスタンド、商業地区が閉まり、ビジネス活動は停止した。カメルーン英語圏市民社会連合は、ゴーストタウン運動の間は暴力行為をしないよう求めていた。しかし、怒った若者たちは、カメルーンの唯一の石油精製所があるリンブの道路にバリケードを築いた。働いているところを見つけてしまった商業用のバイク運転手やタクシー運転手は、激高した若者たちの相手をしなければならなかった。何百人もの怒ったリンブの若者たちがリンブにあるフランス語学校になだれ込んだことで、この暴動は最高潮に達した。怒った若者たちは、何百人ものフランス語話者の学生と先生を学校の敷地から追い出した。警察は、暴れる群衆を追い散らすために、催涙弾を撃ち、銃を発砲した。

エ 記事「[カメルーンでフランス語話者に対してゴーストタウン抗議運動](#)」[フランス 24](#) (2017年1月10日)

1月9日月曜日、「ゴーストタウン作戦」の一環として、カメルーン西部の各地でビジネス活動が停止された。この作戦は、カメルーン英語圏市民社会連合が主導しているもので、フランス語話者ばかりを優遇しているとみなす政府に対する長期抗議運動の一環として行われた。

...

オ 記事「[警察、クンバでの抗議について首謀者らを検査](#)」[Cameroon Post](#) (2016年12月17日)

警察は12月9日の金曜日にクンバを巻き込んだデモ活動を誘発した疑いのある人物らの捜査を加速させた。

...

疑われている人物らの中にはバイク・タクシーのライダー（ベンドスキン¹）として潜伏していると者もいると言われている。

…

捜査の対象は主に、商店やその他の商業施設を閉鎖させた人々で構成されているベンドスキンに集中していると報告されている。

…

未確認の報道によると、街頭抗議が発生して以来多くの人々が失踪している。行方不明者らが警察の捜査網に引っかかったのか自発的に逃亡したのかは不明である。

以上

参照：

- ヒューマン・ライツ・ウォッチ（HRW）「“These Killings Can Be Stopped” : Abuses by Government and Separatist Groups in Cameroon’s Anglophone Regions（「これらの殺害は止められる」カメルーン英語圏地域における政府と分離主義グループによる人権侵害）」（2018年7月19日）、<https://www.hrw.org/report/2018/07/19/these-killings-can-be-stopped/abuses-government-and-separatist-groups-camerouns>
- Cameroon Post 「Police Intensify Search For Ringleaders Of Kumba Protest（警察、クンバでの抗議について首謀者らを検査）」（2016年12月17日）、<https://cameroonpostline.com/police-intensify-search-for-ringleaders-of-kumba-protest/>
- France 24 「Cameroon 'ghost towns' protest against French-speaking bias（カメルーンでフランス語話者に対してゴーストタウン抗議運動）」フランス24（2017年1月10日）、<https://observers.france24.com/en/20170110-cameroon-goes-quiet-operation-ghost-town-protest>
- GARDA 「Cameroon: “Ghost town” protests continue in Southwest and Northwest（カメルーン：南西部及び北西部において「ゴーストタウン」抗議運動が継続）」GARDA（2018年8月7日）、<https://www.garda.com/crisis24/news-alerts/143361/cameroon-ghost-town-protests-continue-in-southwest-and-northwest>
- Jacqueline-Bethel Tchouta Mougoué 「The Coffin Revolution in Cameroon（棺桶革命）」Africa is a Country（2017年5月）、<https://africasacountry.com/2017/05/the-coffin-revolution/>

¹ 訳者注：二人乗りで客を運ぶバイク・タクシー